



(実施概要)

地域コーディネーター養成講座 ぎのわん地域づくり塾2019



令和2（2020）年3月

主催：宜野湾市／市教育委員会／社会福祉法人宜野湾市社会福祉協議会

協力：嘉数区自治会 共催：沖縄国際大学／琉球大学

アドバイザー：櫻井 常矢 教授（高崎経済大学）

企画・運営：NPO法人まちなか研究所わくわく

地域コーディネーター養成プログラム

これからの社会では、様々な分野で「一つの組織、団体では対応できない課題」が増えてきます。地域課題を共有し、互いに得意とするを持ち寄り、一緒に取り組むことで、課題解決を進める「協働による地域づくり」が求められています。「ひとりの困りごと」を「地域の困りごと」として、いろいろな人や力、資源をつなぎ合わせて、解決の動きをつくりだす地域コーディネーターとしての力を磨き合うために、第4期目となる「ぎのわん地域づくり塾2019」を開催しました。本塾では、講義、フィールドワーク、インタビュー、ゼミを通じて、モデル地区（宜野湾市嘉数区）の地域課題をとらえ、解決のための企画提案を行う過程から、地域コーディネーターを育成します。

地域づくりのプロセスを大切にする 地域コーディネーターの養成



講義

アドバイザーの櫻井先生やモデル地区の地域の方が講師となり、地域づくりのプロセス、地域の課題や資源について学びます。

ゼミ

塾生同士でチームに分かれ、対話を通じて、地域課題の仮説を立て、検証し、解決策の企画立案を行います。

フィールドワーク

地域課題や地域資源を発見し、確認し、掘り下げるため、モデル地区のフィールドワークを行います。

インタビュー

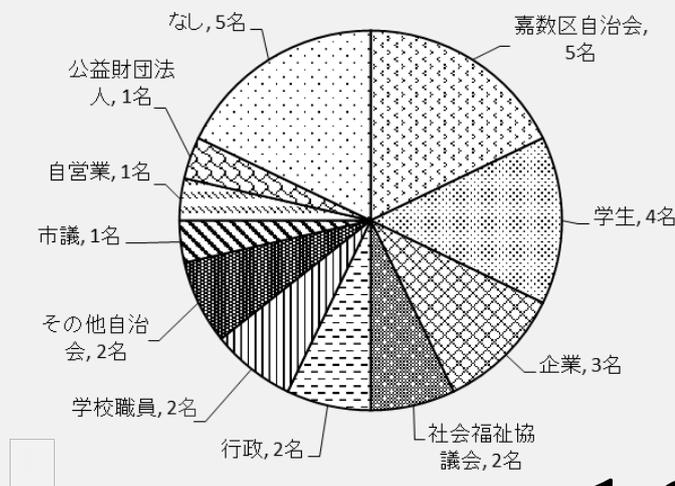
モデル地区の地域の方々へ地域での活動の現状をお聞きし、今ある取り組みと活動上の課題、地域の現状について聞き取りを行います。

4期塾生 28名修了 (要件：全7回講座中3回以上の出席)

宜野湾市の協働による地域づくりに関心のある市内外の18歳以上の方を対象に、塾生の募集を行いました。その結果、第1回公開講座には73名の方々にご参加頂き、企画立案チームに所属した受講生は41名でした。



知念小春さん
FMぎのわん (20代)



皆で話し合うことの大切さ

幅広い年代の方と、話し合う機会はなかなかないので経験できて良かったです。皆の意見を否定せず、受け入れ、「それをどのようにするか」をまた話し合うことが大切だと思いました。住民が地域で住みやすくなるために客観的に見てどう改善していくか、1つの目的を皆で話し合うことで、いろいろ考えさせられました。自分の住んでいる地域にも、他人事ではなく関心をもとうと思いました。

第1・2・3・4期修了生 **121**名



**異業種、異分野の
メンバーがチームで
学び合う**

行政、民間、福祉、自治会等、異なる専門性を持つ方達とチームで学び合います。



**地域の現場（自治会エリア）
で学び、
地域へ提案する**

地域の方々とも話し合い、4ヶ月間かけて、地域の課題を探し、解決策を提案します。



**宜野湾市での
地域づくりの仲間と
ネットワーク**

塾生同士や地域の方達との関りだけでなく、修了生121名とのネットワークが広がります。

第4期のモデル地区（嘉数区）

宜野湾市嘉数区は、普天間基地の南西に位置し、人口は3,662人（平成31年）の地区です。嘉数区は、沖縄戦で激しい戦禍を受けながら、碁盤目の地割、石垣など、古い旧来の面影を残している集落で、近年、那覇市のベッドタウンとして都市化しました。区内にある嘉数高台公園の展望台からは、普天間基地が一望できるため、観光客や修学旅行での平和学習にも利用されています。

自治会の加入世帯数は、1,605世帯の内、418世帯（加入率26%）（平成30年）となっています。



図の引用：宜野湾市市勢要覧 2014



金城 さつきさん
沖縄国際大学
学生支援室
(30代)

想いに寄り添うこと

櫻井先生の「インタビューで話をしてくれた人々の想いに寄り添っているか？」という言葉が残っています。本質的な課題をどう見抜くか学ぶことができました。嘉数区へ思いをもった人々がつながり、地域をよりよくしていこうと動いている事に考えさせられました。



伊波 清正さん
嘉数区自治会
(60代)

地域に目を向ける必要性

嘉数区に目を向けることで、今何が必要か、何ができるか知るきっかけになりました。色々な意見を聞くことで、気づきや学びがあり、チームで活動することの大切さを知りました。

コーディネーターの役割

問題点を掘り出し、整理し、解決への糸口を見つける。それを地域の人々によって解決するコーディネーターの役割は難しいと感じました。嘉数区は、公園を支点に周辺を見ると、他の地域との違いが見えるような気がしました。今後は、今ある資源を生かす地域づくりに関わりたいと思います。



荒尾 みどりさん
(50代)

地域資源の再確認と活用

市外から参加し、思いを持った地域の方々とは意見交換できたこと、テーマにそって考えたことは大きな学びとなりました。嘉数区から、地域資源の再確認と活用の可能性を考えることができました。



上原 泉さん
読谷村役場
(50代)

嘉数区の困りごと

第2回講座にて、嘉数区自治会の伊波稔会長、嘉数小学校地域コーディネーターの新垣真弓氏から嘉数区の地域活動や歴史について教えていただき、現在の課題として、以下の4つの困りごとをご提示いただきました。

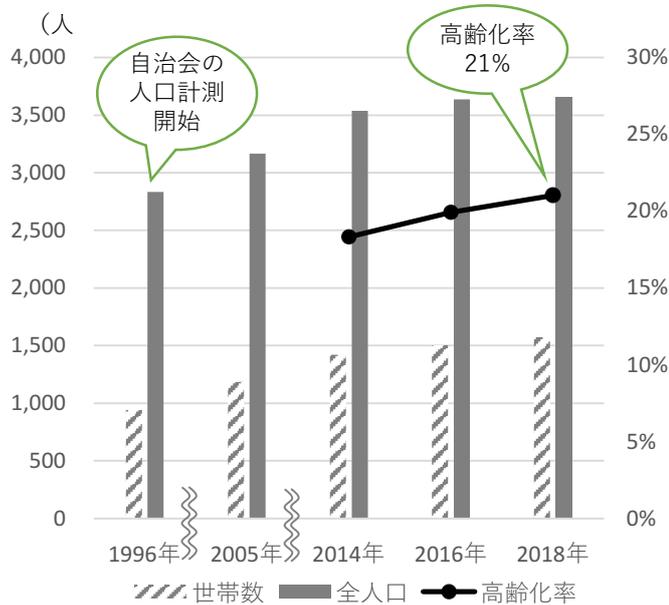


図 嘉数区の人口、世帯数、高齢化率推移

1. 嘉数高台公園の活用

普天間基地を一望でき、観光地となっているが、自治会と関わる仕組みがない

2. 持続可能な平和学習

平和の語り部が高齢化するなか、平和学習を持続可能にするにはどのようにすればよいか

3. 高齢者の見守り

独居高齢者が集まっている地域があるが、公民館が高台にあるため足を運びづらい

4. 子どもの居場所

部活や習い事をしていない子どもたちの居場所が少ない



伊波 稔 会長



新垣 真弓 氏

嘉数区の困りごとに応じた企画提案

塾生が、嘉数区の4つの困りごとの中からテーマを決め、チームごとに解決したい課題を設定し、解決に向けた企画提案を行いました。そして、令和元年10月5日（土）に、嘉数区の皆さんに向けて「地域の課題設定」、「解決方法（提案）」、「実現するプロセス」をふまえて、最終発表を行いました。

提案① 嘉数高台公園の活用

課題設定

嘉数高台公園の平和学習で、どれだけ歴史が伝わっているのかわからないため、もっと有意義に利用できる方法を考える。

解決方法（提案）

公園内に、基地や戦争に関する情報をQRコード化した説明版を設置することで、更新や多言語対応ができる情報発信を行う。

実現するプロセス

小中学校の授業に地域の戦争体験の聞き取り調査や情報収集を盛り込むことで、説明版のQRコードのリンクを更新していく。

チーム：嘉数高台公園を建て直す隊



提案② 子どもの居場所をつくらう！！

課題設定

嘉数小学校では放課後の子どもたちの居場所が少ないため、塾などに行っていない子供たちの居場所づくりが必要である。

解決方法（提案）

平日の放課後に、嘉数区公民館の昼間、体育館で、学習支援や遊びを行い、子どもたちの活動として高齢者世帯の訪問も行う。

実現するプロセス

より子どもの実態をつかむためのリサーチを行い、自治会、子ども会等と中高生、大学生ボランティアで居場所の運営を行う。

チーム：わらば〜見守り隊



企画発表に対する嘉数区住民のコメント



高元 大貴さん
嘉数区青年会

自分の住んでいる嘉数について、市内外から参加して頂いた皆様が親身になって考えてくれたことに感動しました。地域に戻って、関わりのある人と話し合い、もっと発展させ、自分たち若者の居場所や、後世に対して何ができるのか考えて取り組んでいきたいです。

平和学習について、地元の子どもも深く知らないことがあるなかで、県外から来た子どもたちが話を聞くだけでは忘れてしまうと思います。QRコードにすることで、記録に残り、家族にも広がっていくと思うので、嘉数区として、皆の力で実現出来たらと思います。



伊波 清正さん
嘉数区民生委員



城間 浩さん
嘉数区育成会

普段、小さいコミュニティ内で関わる人が限られるなかで、こうしたらいんじゃないかと提案を頂けたことが糧になりました。これで終わりにせず、嘉数区の事に取組んでいけるようにしたいです。

居場所づくりの時の子どもたちを見る人、監視が十分に行き届くか、親が安心して高台公園に行かせるかが大きな課題だと思います。素晴らしい提案をありがとうございます。



伊波 義雄さん
嘉数区老人会

今回で4期目となったぎのわん地域づくり塾は、嘉数区自治会がモデルとなり、地元住民、市内外からの受講生が参加し、嘉数区の抱える課題について、各チームで議論を深め全員で再検討し、講師の助言も添えながら塾を開催出来たことは誠に時宜を得た事業と思います。課題解決に向けいろいろな意見を共有し学習することが、解決策への大切なプロセスであることを学び、地域コーディネーター養成の機会となりました。これからの自治会活動を運営するうえで、地域資源の活用、人材活用等を地域コーディネーターと共に進めていきたいと思っています。

提案③ ジュニア・エイサー隊結成！

課題設定

子ども会と青年会をつなぐ団体がなく、中学生の居場所がなく、自治会離れにも繋がっている。

解決方法（提案）

中学生世代のエイサー隊をつくり、公民館等での活動を通して、地域伝統エイサーの継承を行う。

実現するプロセス

中学生のニーズ調査から活動計画を立て、青年会が指導役、ていがね会等がサポートし活動を行う。

チーム：E～ね！かかざっ子！



提案④ E-スポーツを通じた嘉数公民館のサロン化

課題設定

課題を解決するには、限られた人数では限界があるため、多くの区民が公民館に集まる必要がある。

解決方法（提案）

公民館でE-スポーツを行い、サロン化することで、人が集まり、気軽に意見交換できる環境をつくる。

実現するプロセス

世代を超えた委員会を設置し、地域づくり助成金を活用し、E-スポーツの環境整備、広報等を行う。

チーム：嘉数E-スポーツ普及会



提案⑤ 嘉数高台公園の活用と平和の語り部の継承

課題設定

地元住民、子どもたち向けに平和学習を行う機会がなく、平和の語り部の担い手が不足している。

解決方法（提案）

小中学校の夏休みに行うラジオ体操と平和学習をコラボし、小中学生の平和ガイドを育成していく。

実現するプロセス

自治会組織で役割分担し、平和学習の企画段階から子どもたちに参加してもらい親子対象で実施する。

チーム：ねだて



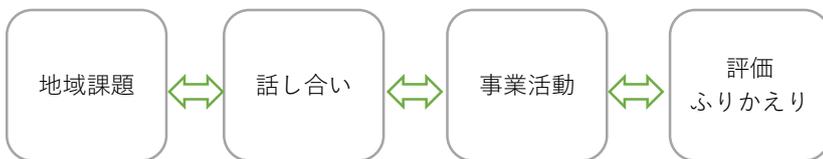
ぎのわん地域づくり塾カリキュラム

「ぎのわん地域づくり塾」では、全7回の講座にて、地域課題の仮説を立て、フィールドワーク、インタビューを通して課題を探り、嘉数区に貢献する企画提案を行う過程から、地域コーディネーターとしてのスキルを学んでいきました。

地域コーディネーターの人材像

地域づくりのプロセスを大切にし
地域内外の多様な人や組織、力、資源をつなぎ合わせて
「ひとりの困りごと」を「地域の困りごと」として
解決の動きをつくりだす人材

地域コーディネーターが住民と行う、地域づくりのプロセス



フィールドワーク

フィールドワーク
～まちあるき～

参加者 塾生 27名

午前中は、フィールドワークで得たい情報を各チームで話し合い、まちあるきのコースを決め、午後は、チームごとに実際に嘉数区のまちあるきを行いました。その後、嘉数区を歩いて得た情報を発表し、全体で共有しました。



第1回講座（公開）

日時 7月6日（土）
13:00～17:00
会場 宜野湾市中央公民館
集会場

第2回講座

日時 8月3日（土）
9:30-15:30
会場 嘉数小学校
地域連携室

第3回講座

日時 8月17日（土）
9:30-15:30
会場 嘉数小学校
地域連携室

第4回講座

日時 8月28日（水）
18:30-21:00
会場 沖縄国際大学
3105教室

公開講座

足元の資源を生かした「地域経営」
～浦添市港川自治会の取り組みに学ぶ～

参加者 73名

講師 櫻井 常矢 氏（高崎経済大学 教授）

ゲスト 銘苅 全朗 氏（浦添市港川自治会 会長）
鹿谷 麻夕 氏（しかたに自然案内 代表）

銘苅氏、鹿谷氏より、港川自治会の取り組みと、里浜の保全活動の取り組みをご報告いただき、その後、櫻井先生と交えて、これからの地域経営とコーディネーターの役割について考えました。



地域の課題研究

現場から学ぶ
「モデル地区：嘉数区」の地域課題と実践を知る

参加者 塾生 24名

情報提供

伊波 稔 氏（嘉数区自治会長）
新垣 真弓 氏（嘉数小学校地域コーディネーター）

塾生同士の自己紹介や、嘉数区の歴史や特徴、現在の地域活動、地域課題のお話しをお聞きしました。そして、チームごとに今後取り組む地域課題を決定しました。



インタビュー

フィールドワーク
～地域インタビューと地域の実践から学ぶ～

参加者 塾生 24名, 一般 14名

講師 大城 喜江子氏 (浦添市森の子児童センター館長)
櫻井 常矢氏 (高崎経済大学 教授)

自治会、青年会、子ども育成会、老人会、民生委員、公園指定管理者等に、インタビューさせていただき、プレ発表を行いました。その後、大城氏、櫻井先生より、森の子児童センターの実践からコーディネーターの視点を学びました。



課題解決に向けた企画づくり

企画づくりと「中間発表」

参加者 塾生 14名

嘉数区の課題解決に向けた企画づくりを各チームで進めました。嘉数区に貢献する発表を目指して企画内容などについて中間発表を行い、お互いの発表に対して意見を交わしました。



嘉数区に向けた「最終発表」および修了式

参加者 塾生 19名, 一般 4名

講師 櫻井 常矢氏
(高崎経済大学 教授)

約4か月間、学んだ成果を5チームが発表しました。発表後には、嘉数区の方、伊波会長、櫻井先生よりコメントをいただきました。修了式にて修了証が授与され、本塾も修了となりました。



第5回講座

日時 9月1日(日)
9:30-15:30
会場 嘉数小学校
地域連携室

第6回講座

日時 9月29日(日)
9:30-15:30
会場 宜野湾市中央公民館
集会場

第7回講座

日時 10月5日(土)
9:30-16:00
会場 宜野湾市社会福祉
センター

塾生交流会

毎月第3水曜日に
開催中♪

スキルアップ

スキルアップ講座
～「企画」の立て方とファシリテーション～

参加者 塾生 22名, 一般 8名

講師 宮道 喜一氏
(まちなか研究所わくわく 事務局長)

地域づくりのプロセスを推進していく中で基礎となるファシリテーションと企画の立て方について学びました。グループワークにて、話し合いながら、話を聴くこと、共有することの大切さを学びました。



多彩な情報の交換会♪

日時 毎月第3水曜日
18:30-20:30

場所 ケアステーションマナ
参加費 100円 (お茶菓子代)

塾生交流会は、年代、属性も多彩なメンバー同士で公園を活用したイベントの計画・実施、まちづくり研修の計画等、楽しみながら交流しています。行けるときに行ける、ゆるく長くつながれる場です。



関係者からみた地域づくり塾

様々な人や組織の「つなぎ役」となる人材育成のために



塾長 宜野湾市
松川 正則 市長

本市では、宜野湾市市民協働基本指針に「誇りと愛着の育まれるまちづくり」を掲げ、協働によるまちづくりを進めているところでございます。その実現のためには、一つの組織、団体では対応できない複雑化した地域課題を、様々な人や組織が関わり解決していくことが求められております。当塾は、そのような人や組織の「つなぎ役」となる人材の育成を目的として開催しております。今期の課程を修了した4期生の皆さまにおかれましては、今後も引き続き卒業生とともに自主交流会や活動にご参加下さり、協働による地域づくりの担い手、つなぎ手として、ご活躍されることを期待しております。



宜野湾市教育委員会
知念春美 教育長

本市教育委員会では、令和2年度から全小中学校で地域とともにある学校として「地域協働学校」いわゆるコミュニティ・スクールを推進しています。生涯学習課でも、独自事業で地域コーディネーターにご協力いただいておりますが、地域づくり塾の皆さまにも、学校・家庭・地域の連携・協働の「つなぎ役」としてのご活躍に大いに期待しております。



宜野湾市
社会福祉協議会
多和田眞光 会長

本会では、「地域福祉」の推進に取り組んでおり、その実現のためには、協働した地域づくりが基盤となり、幅広い分野の方々がつながり地域の課題に対し取り組むこと。その「つなぎ役」となる地域コーディネーターの役割が重要となります。今期、受講終了しました皆様には、地域づくりの担い手として大いにご活躍されますことを期待いたします。



高崎経済大学
櫻井常矢 教授

高齢化時代の地域づくりには、会員のみ閉ざされた自治会や団体活動ではなく、他の地域・団体との「連携・協働」など、多様な力を受け入れる外に開かれた取り組みが求められます。今回の塾では、世代間の継承も含め、そうした自治会や団体の努力が多く見られました。塾での出会いを新たなつながりとして、ぜひ一緒に頑張ってください。



まちなか研究所わくわく
宮道喜一 事務局長

今期のモデル地区である嘉数区では、若い世代から高齢世代までが、縦につながり活動する姿がありました。塾生もこれからの地域・自治会・公民館のあり方の可能性を見たのではないのでしょうか。第4期を終え、100名を超えた修了生が、宜野湾市の地域づくりの担い手として、つなぎ手として活躍していくことを期待しています。

ぎのわん地域づくり塾2019 実施概要

宜野湾市 企画部 市民協働推進課 市民協働係 TEL 098-893-4411 (内線 403, 422)